

第6章 財政計画

6-1 収益的収入の主な費目における考え方

a) 給水収益

給水収益は、令和3年度、令和6年度の平均供給単価(176.00円/m³)に水需要予測から設定した計画期間の有収水量を乗じて算出しました。令和2年度、令和4年度及び令和5年度はコロナ禍における原油価格・物価高騰対応としての水道料金減免措置を実施したため、例外として除外しています。

b) 長期前受金戻入

長期前受金戻入は、既存及び新規の固定資産取得のために充当する補助金等の減価償却見合い分を見込みました。

6-2 収益的支出の主な費目における考え方

a) 職員給与費(人件費)

過去の人件費(給料、手当、法定福利費等)の平均額に、計画期間の令和17年度まで賃金上昇率1.0%を見込んだ費用を計上しました。

b) 経費(動力費など)

動力費は、動力費単価に水需要予測から設定した計画期間の1日平均給水量を乗じて算出しました。動力費単価は令和6年度実績に、計画期間の令和17年度まで物価上昇率1.0%を見込んでいます。

修繕費は、直近5年間の平均額が妥当と判断しました。なお、計画期間の令和17年度まで物価上昇率1.0%を見込んでいます。

委託費は、令和6年度の費用が妥当と判断しました。なお、計画期間の令和17年度まで人件費上昇率1.0%を見込んでいます。

材料費は、直近5年間の平均額が妥当と判断しました。なお、計画期間の令和17年度まで物価上昇率1.0%を見込んでいます。

c) 経費(受水費)

受水費は茨城県中央広域水道から浄水を受水するための費用です。広域的な水源確保は今後も必要であるため、受水を継続します。費用は受水量に契約単価を乗じて算出しました。契約単価は令和 7 年 4 月 1 日より適用となった改定後の単価(値下げ)を採用します。

d) 減価償却費

減価償却費は、既存及び新規に取得する固定資産を対象に、残存価格 10%、定額償却として算出しました。

e) 支払利息

支払利息は、過去及び新規に借り入れる企業債における利息を計上しました。利率は、計画策定時点において内閣府から試算結果が公表されている令和16年度まで増減率を見込むこととしました。

6-3 資本的収入の主な費目における考え方

a) 企業債

企業債は、計画期間中に現在の残高を超過しない範囲で、建設改良費用の規模に応じて借り入れる計画としました。

b) 他会計出資金

他会計出資金は、過年度の実績を踏まえ、実施工事の内容に応じて見込まれる金額を計上しました。

c) 国(都道府県)補助金

国(都道府県)補助金は、交付が予定されている令和 7 年度分を計上しました。

6-4 資本的支出の主な費目における考え方

a) 建設改良費

建設改良費は、年次事業計画に示した事業費約 57.07 億円を見込みました。計画期間終了後は、アセットマネジメント計画より現有施設の適正更新を実施するために必要と判断した事業費、年間約 8.1 億円を計上しました。

b) 企業債償還金

元金償還金は、過去に借り入れた企業債の償還予定額に加え、新規に借り入れる企業債を償還期間 30 年(据置期間 5 年)で償還する見込みで計上しました。

6-5 財政計画の見通し

年次事業計画に基づく財政収支の見通しを示します。

収益的収支のうち、収入は水需要減少の影響により微減傾向で推移する一方、費用は減価償却費の増加や物価・人件費上昇の影響を受けて年々増加傾向になります。収入と費用の差である利益は令和 8 年度時点で赤字となっており、経営健全化対策の実施が急務となっています。

資本的収支は、計装機器や逆洗ポンプ等の機器類、ろ過池ろ材の更新など、耐用年数を経過した水道施設について、優先順位を見極めながら計画的に更新することとされていますが、建設改良費は実績よりも増大する見込みです。現状の企業債残高を超過しない範囲で企業債を活用しつつ、事業を安定的に運営できる補てん財源残高を確保していくことが必要です。

これらを踏まえた試算によると、収支の黒字化及び健全な経営を維持していくためには、計画期間中に料金改定が必要となっており、料金改定時期と改定率については、今後第三者委員会等を立ち上げ、具体的な検討を行います。

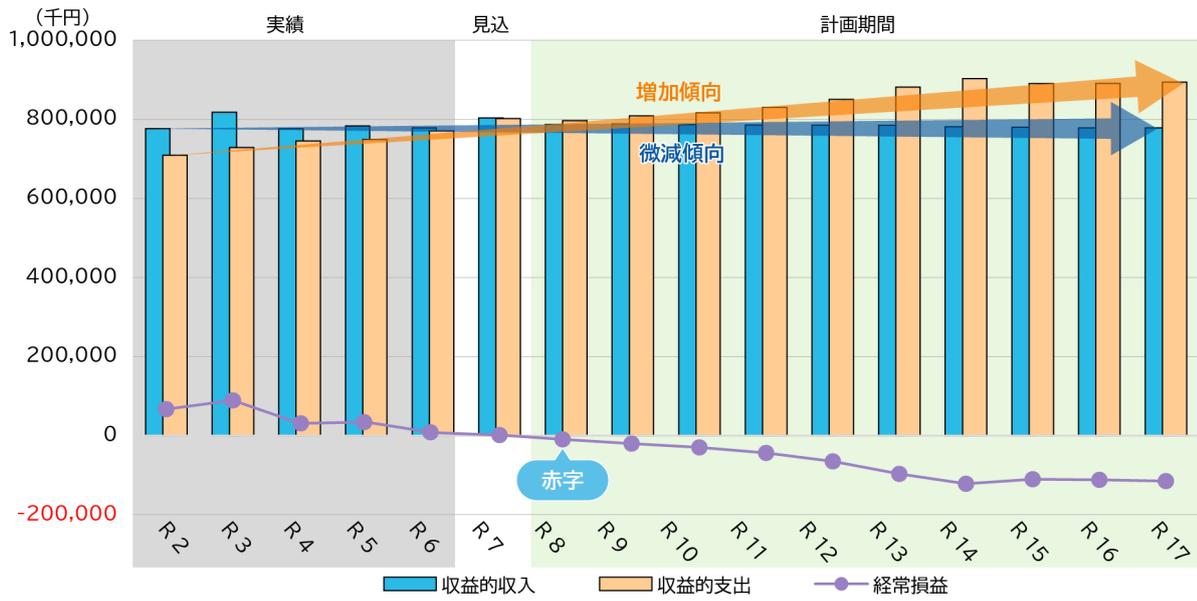


図 6-1 収益的収支の推移

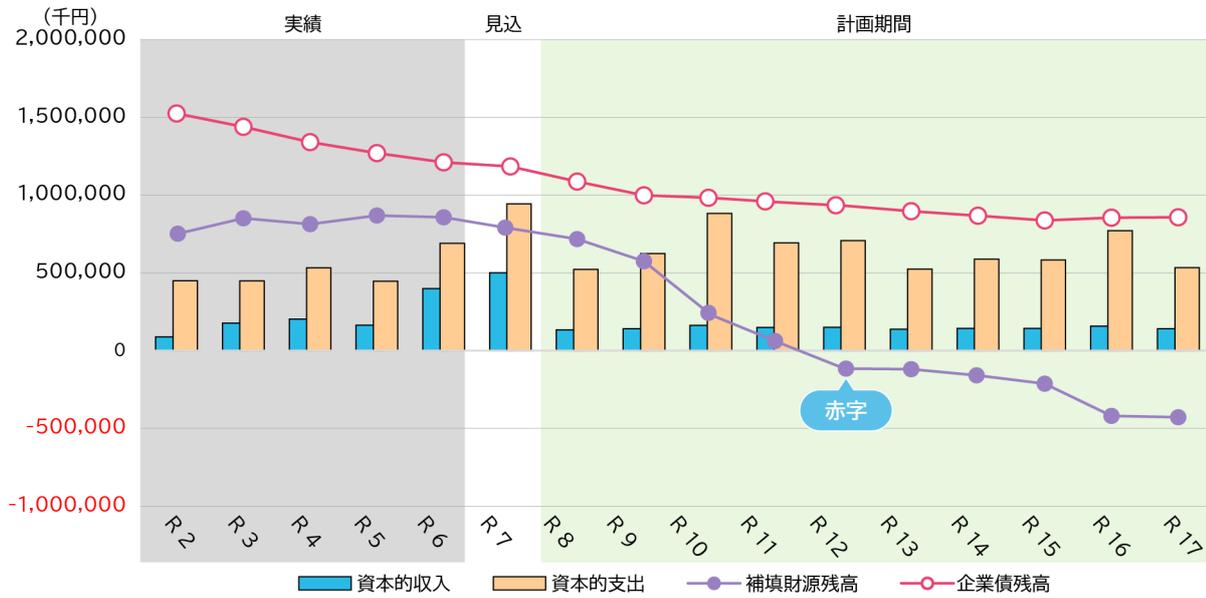


図 6-2 資本的収支の推移

表 6-1 収益的収支の見通し

(千円)		実績					見込	計画期間										
区分 / 年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
収益的収入	1. 営業収益 (A)	639,872	797,477	633,132	640,873	755,203	639,195	752,121	754,174	752,559	751,753	751,467	752,077	748,974	747,760	746,548	747,218	
	(1) 給水収益	577,042	693,953	574,750	581,685	692,935	573,285	693,407	695,242	693,407	692,379	691,865	692,343	689,102	687,753	686,404	686,932	
	(2) 受託工収益 (B)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(3) その他営業収益	62,830	103,524	58,382	59,188	62,268	65,909	58,714	58,932	59,152	59,374	59,602	59,734	59,872	60,007	60,144	60,286	
	2. 営業外収益	136,486	20,453	143,374	142,259	23,390	164,086	34,620	34,178	33,935	34,103	33,605	32,750	32,361	32,272	31,956	31,487	
	(1) 受取利息	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(2) 補助金	114,211	0	125,886	123,805	5,430	135,208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般会計補助金	114,211	0	119,796	119,335	0	130,408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他補助金	0	0	6,090	4,470	5,430	4,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(3) 長期前受金戻入	16,524	16,782	14,149	14,003	13,932	26,980	30,372	29,930	29,687	29,855	29,357	28,502	28,113	28,024	27,708	27,239	
	(4) その他	5,751	3,671	3,339	4,451	4,026	1,897	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	4,248	
	収入計 (C)	776,358	817,930	776,506	783,132	778,593	803,281	786,741	788,352	786,494	785,856	785,072	784,827	781,335	780,032	778,504	778,705	
	収益的支出	1. 営業費用	685,240	707,577	726,624	732,150	754,084	785,545	780,074	792,754	800,587	813,182	833,168	863,932	885,288	872,367	872,599	875,018
		(1) 職員給与費	62,795	55,605	60,461	59,681	58,761	61,839	59,799	60,397	61,001	61,611	62,227	62,850	63,478	64,113	64,754	65,402
基本給		33,494	27,938	29,896	29,118	28,649	29,658	29,478	29,773	30,071	30,371	30,675	30,982	31,292	31,605	31,921	32,240	
退職給付費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他		29,301	27,667	30,565	30,563	30,112	32,181	30,321	30,624	30,930	31,240	31,552	31,868	32,186	32,508	32,833	33,162	
(2) 経費		331,333	352,166	373,674	368,591	389,003	402,146	404,237	406,883	408,591	410,553	412,484	430,937	436,765	438,996	441,128	443,682	
動力費		29,903	36,537	58,245	44,307	47,080	54,644	47,895	48,324	48,462	48,715	48,934	49,279	49,340	49,590	49,779	50,159	
薬品費		12,735	0	394	893	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
修繕費		20,313	29,420	20,794	21,718	12,580	13,065	21,384	21,598	21,814	22,032	22,253	22,475	22,700	22,927	23,156	23,388	
委託料		110,435	127,758	126,853	137,523	167,090	167,664	170,432	172,466	174,191	175,933	177,692	195,705	201,721	203,739	205,776	207,834	
材料費		515	897	830	566	890	909	754	762	770	777	785	793	801	809	817	825	
受水費		142,297	141,687	148,490	145,559	143,437	142,185	146,768	146,729	146,350	146,092	145,816	145,681	145,199	144,927	144,596	144,472	
その他		15,135	15,867	18,068	18,025	17,926	23,679	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	
(3) 受託工事費		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 減価償却費		289,586	291,109	289,254	300,982	302,048	317,260	311,913	321,349	326,870	336,893	354,332	366,020	380,920	365,133	362,592	361,809	
(5) 資産減耗費		1,526	8,697	3,235	2,896	4,272	4,299	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	
2. 営業外費用		24,202	20,973	18,692	16,745	16,757	16,437	16,759	16,072	15,787	16,516	16,893	17,348	17,407	17,615	17,895	18,763	
(1) 支払利息		23,891	20,757	18,335	16,509	15,517	16,092	16,479	15,792	15,507	16,236	16,613	17,068	17,127	17,335	17,615	18,483	
(2) その他		311	216	357	236	1,240	345	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	
支出計 (D)		709,442	728,550	745,316	748,895	770,841	801,982	796,833	808,826	816,374	829,698	850,061	881,280	902,695	889,982	890,494	893,781	
経常損益 (C)-(D) (E)	66,916	89,380	31,190	34,237	7,752	1,299	△10,092	△20,474	△29,880	△43,842	△64,989	△96,453	△121,360	△109,950	△111,990	△115,076		
特別利益 (F)	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別損失 (G)	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別損益 (F)-(G) (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当年度純利益 (又は純損失) (E)+(H)	66,916	89,380	31,190	34,237	7,752	1,299	△10,092	△20,474	△29,880	△43,842	△64,989	△96,453	△121,360	△109,950	△111,990	△115,076		
供給単価 (円/m ³) (I)	145.46	175.41	145.66	146.83	176.74	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00	176.00		
給水原価 (円/m ³) (J)	174.67	179.91	185.30	185.50	193.05	196.51	194.54	197.18	199.68	203.32	208.77	216.78	223.37	220.58	221.23	222.02		
料金回収率 (%) (J)/(I) (K)	83.30	97.50	78.60	79.20	91.60	89.60	90.50	89.30	88.10	86.60	84.30	81.20	78.80	79.80	79.60	79.30		
営業収支比率 (%)	93.38	112.71	87.13	87.53	100.15	81.37	96.42	95.13	94.00	92.45	90.19	87.05	84.60	85.72	85.56	85.40		

表 6-2 資本的収支の見通し

(千円)		実績					見込	計画期間									
区分 / 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
資本的収入	1. 企業債	29,000	72,000	50,000	70,000	70,000	100,000	27,000	35,000	56,000	43,000	44,000	32,000	36,000	36,000	51,000	35,000
	うち資本費平準化債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2. 他会計出資金	50,000	100,000	144,000	88,767	80,000	150,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	3. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計負担金	9,273	5,401	5,522	5,885	5,258	6,688	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268	6,268
	5. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	244,148	244,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 工事負担金	0	0	3,523	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (A)	88,273	177,401	203,045	164,652	399,406	500,848	133,268	141,268	162,268	149,268	150,268	138,268	142,268	142,268	157,268	141,268	
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の(B)財源充当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
純計(A)-(B) (C)	88,273	177,401	203,045	164,652	399,406	500,848	133,268	141,268	162,268	149,268	150,268	138,268	142,268	142,268	157,268	141,268	
資本的支出	1. 建設改良費	283,718	288,956	383,782	307,256	561,531	817,429	399,179	501,172	809,062	622,393	640,492	457,467	522,416	517,662	737,199	500,288
	うち職員給与費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2. 固定資産購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 企業債償還金	165,659	158,735	148,693	139,649	129,407	126,549	123,833	123,655	72,570	70,633	67,069	67,333	65,483	65,091	33,503	33,403
	4. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	449,377	447,691	532,475	446,905	690,938	943,978	523,012	624,827	881,632	693,026	707,561	524,800	587,899	582,753	770,702	533,691	
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	361,104	270,290	329,430	282,253	291,532	443,130	389,744	483,559	719,364	543,758	557,293	386,532	445,631	440,485	613,434	392,423	
補填財源	1. 損益勘定留保資金	195,445	111,555	198,205	145,368	258,845	368,818	353,456	437,999	645,813	394,964	329,100	341,644	356,932	341,234	339,009	338,695
	2. 利益剰余金処分別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	165,659	158,735	131,225	136,885	32,687	74,312	36,288	45,560	73,551	148,794	112,684	41,588	47,492	47,060	67,018	45,481
計 (F)	361,104	270,290	329,430	282,253	291,532	443,130	389,744	483,559	719,364	543,758	441,784	383,232	404,424	388,294	406,027	384,176	
補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,509	3,300	41,207	52,191	207,407	8,247	
他会計借入金残高 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
企業債残高 (H)	1,525,697	1,438,962	1,340,269	1,270,620	1,211,213	1,184,664	1,087,831	999,176	982,606	954,972	931,903	896,570	867,088	837,997	855,494	857,091	
補填財源残高 (I)	749,749	851,374	813,505	869,535	858,161	785,220	717,430	574,976	230,471	54,457	△115,509	△118,809	△160,016	△212,207	△419,613	△427,860	

6-6

財政計画（収支計画）に未反映の取組みや今後検討予定の取組みの概要

投資・財政計画に関する取組みや今後検討予定の取組みの概要を示します。

表 6-3 各取組みの概要

取組み	取組み内容
広域化	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県水道事業広域連携推進方針改定版が令和7年3月に公表されました。 本村は県中央圏広域圏に属していますが、事業経営方針を検討した結果、経営の一体化や施設統廃合を必要とする広域連携は実施せず、現在の事業運営を継続する方針とします。 今後は近隣事業者の動向把握や事例検討を継続します。
民間の資金・ノウハウ等の活用 (PPP/PFI等の導入等)	<ul style="list-style-type: none"> 近年の組織人員適正化を受け、少ない職員数で効率的な事業運営を行うために令和3年度より浄水場等運転管理業務委託を実施しました。 これにより水道サービス水準の維持・向上や、緊急時の対応強化が期待されます。今後も民間委託を継続するとともに、契約更新時にはより良い委託方式の活用可能性を検討します。
アセットマネジメントの充実 (施設・設備の長寿命化等による 投資の平準化)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に事業実施の優先度を考慮したアセットマネジメント計画を策定しました。 引き続き、本計画に基づいた効率的な整備実施を推進するとともに、アセットマネジメント水準の向上を図ります。
施設設備の廃止・統合・合理化 (ダウンサイジング・ スペックダウン)	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間内において施設利用率は現状の水準を維持する見込みです。 将来は水需要の減少に伴い施設利用率が徐々に低下する見込みとなっているため、将来の施設更新実施時にはダウンサイジングやスペックダウンの可能性を検討します。
その他の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 上記以外の今後の投資に関する取組について、国の動向や他事業者の状況を注視し、必要に応じて検討を行います。
料金	<ul style="list-style-type: none"> 近年の物価・人件費・金利の上昇傾向を反映した投資・財政計画を検討した結果、収支黒字化のためには、計画期間中に料金改定が必要となっており、料金改定時期と改定率については、今後第三者委員会等を立ち上げ、具体的な検討を行います。
企業債	<ul style="list-style-type: none"> 投資・財政計画において、計画期間内において企業債残高が実績値を上回らない水準で活用する方針です。 今後、事業費が計画以上に増加するなど、企業債充当率を上げざるを得ない状況が発生する場合は、将来世代に過度な負担を強いることがないよう、企業債発行額の適正な管理を行います。
繰入金	<ul style="list-style-type: none"> 実績より収入が見込まれる繰入金を含めた検討を行っています。
資産の有効活用等による 収入増加の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 遊休資産の有効活用やその他収入増加の取組について調査研究を継続します。